

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学消化器内科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 2月

福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 林 学

■ 研究課題名

顕性肝性脳症患者の生存期間に関連する因子を検討するためのコホート研究

■ 研究期間

2026年3月 ～ 2029年2月

■ 研究の目的・意義

肝性脳症は肝硬変によって発症する疾患であり、神経や精神状態の変化を起こす可能性がある状態です。羽ばたき振戦や意識障害などの明瞭な症状がでる場合は顕性肝性脳症と呼ばれますが、顕性肝性脳症は発症することで意識状態が悪くなることで生活の質が著しく低下します。そのため再発を予防するために内服薬を含めた治療が行われています。しかし治療を行っても顕性肝性脳症が再発してしまうことや様々な要因によって亡くなってしまうことがあります。そのため顕性肝性脳症を発症した患者さんではどのような因子が生存期間や肝性脳症再発に影響しているかを理解することが適切な治療方法や予防方法を考える上で重要だと考えられます。しかし十分には解明されていないのが現状です。そのため顕性肝性脳症を発症した肝硬変の方の生存期間や肝性脳症再発に関連する因子を解明することを目的とした研究を行います。

■ 研究対象となる方

本研究は、2016年12月から2025年10月に肝疾患を背景として顕性肝性脳症を発症し、当院で顕性肝性脳症の再発予防として合成二糖類(ラクツロースやラクチトール)または難吸収性抗菌薬(リファキシミン)により治療された患者さんを対象としています。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、肝臓疾患の状態、血液検査結果、合併症、治療内容、治療後どのような転帰をたどられたか、などの項目についてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年3月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学消化器内科学講座であり、研究責任者は消化器内科学講座 林学です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学消化器内科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

ありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当：林学

電話：024-547-1202 FAX：024-547-2055

e-mail：m884884@fmu.ac.jp